

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
社会的養護内容		小島 久司	演習	1	前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	保育士資格必修			
学習目標	1. 児童福祉施設での養護と地域社会との関係を理解し、養護児童及び家族に対しての支援と生活のあり方を考える。 2. 児童支援に必要なスーパービジョンシステム、また職員のチーム化に不可欠な支援姿勢について考える。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	児童養護施設等の現状	児童養護施設をはじめとした児童福祉施設の現状について			
2	入所児童の特殊性	養育環境がパーソナリティに与える影響			
3	施設養護と近接領域との関係	児童相談所、学校、保健所、医療機関等と、そして家庭との連携の過程			
4	施設での躰と権利擁護	日常生活の流れと児童の生活リズムと、施設生活における児童の権利擁護について			
5	児童虐待と親権	親子分離と親権			
6	施設における記録の実際	記録の意義、事例による記録の方法とポイントの整理			
7	ケースカンファレンスとケーススタディ	カンファレンスとスタディの比較と児童養護施設における職員チーム化の重要性			
8	生活支援の取り組みと企画のあり方	生活支援（日課等）の意義及び入所児童の主体性を尊重した支援のあり方について			
9	養護児童の理解のあり方と施設職員の役割	共感的理解と福祉施設における職員準拠枠の重要性 チームワークとチームケアの概念について			
10	家族関係に係わる調整の実際	事例をとおしたファミリーソーシャルワークの実際			
11	ケースワークのあり方	多様な機関との連携による児童支援の展開			
12	福祉施設でのスーパービジョンの意義	児童と職員との関係に重なるスーパービジョン関係と受容のための前提			
13	リスクマネジメント	入所児童の安全・安心生活のあり方と危機管理のあり方			
14	児童養護施設における課題及び社会的養護の現状	児童養護施設の社会的機能及び今日的課題と職員の役割 乳児院や里親の現状について			
15	虐待の予防対策	自治体による要保護児童対策の必要性を考える。			
参 考 書	吉澤英子他編 「保育・看護・福祉プリマーズ③『養護原理』」 ミネルヴァ書房 2004				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	児童養護施設の実際について講義・演習をするので、しっかりと聴くこと。				
評価の方法と時期	定期試験、授業態度などを総合して評価する。				